

今泉一の宮の

曾我堂

平成十二年四月五日号

今泉の十王子神社の境内に「曾我堂」と呼ばれるお堂があります。このお堂の中には、曾我物語で知られる曾我兄弟の弟・曾我五郎の木像を祭つてあると言われています。今回は、この曾我堂に伝わる話を紹介します。

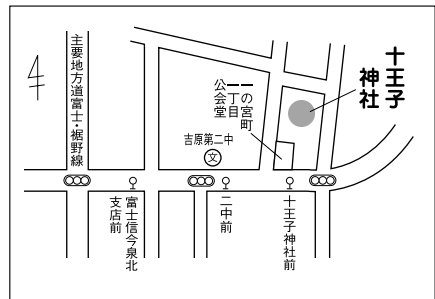
今から五百年くらい前のことです。

今泉に善徳寺という臨済宗の大きなお寺がありました。そのお寺の竺帆和尚しゆくはんおしょうというお坊さんが、ある晩夢を見ました。それは、富士

の巻き狩りのとき、

親のかたきを討つた曾我五郎の亡霊が、善徳寺の門前に立ち、竺帆和尚にぜひ会いたいと言いました。和尚は、五郎を本堂に入れ、話を聞きました。五郎は、「私は今地獄の修羅道しゆらどうで、成仏できなくて困っています。どうか、あなたのお力で、私を成仏させてください」と言うので、和尚は、「よろしい。私の法力で必ず成仏させてやるから静かに待っていてなさい」と言いました。

五郎の亡霊は、にっこり笑って姿を消しました。竺帆和尚は、それから三日三晩、寝ずに五郎の木像を刻み、ほこらを建てて、その



中に木像を祭り、每晚お経を上げて五郎の魂を供養しました。そして毎年五月二十八日には盛大な祭典をしたそうです。

十王子神社前氏子総代代表

鈴木徳治さん（今泉五丁目）

今ではお堂の中に木像はありません。また、史誌などによると、曾我堂は昔、この町内にある曾我小路と呼ばれる小路の奥にあったということですが、いつごろまであったのかなど、ほとんど伝えられていませんね。

私が子どものころは、よく十王子神社で遊び、鬼ごっこで曾我堂の中に隠れたりしたものです。そのころは、お堂は拝殿のすぐ東側にあったのですが、昭和十五年に火事があったので、今の場所に移されたのです。そして、昭和三十年に吉原二中の校舎を増設する際、なぜかお堂の中に山の神様も入れて合祀するよ



▶ 曾我堂

うになりました。

毎年一月十五日には、この町内で山の神様の祭りを行い、曾我堂を開帳します。しかし、山の神様は知られていますが、若い人など曾我さんのことを知らない人が多いのではないのでしょうか。